

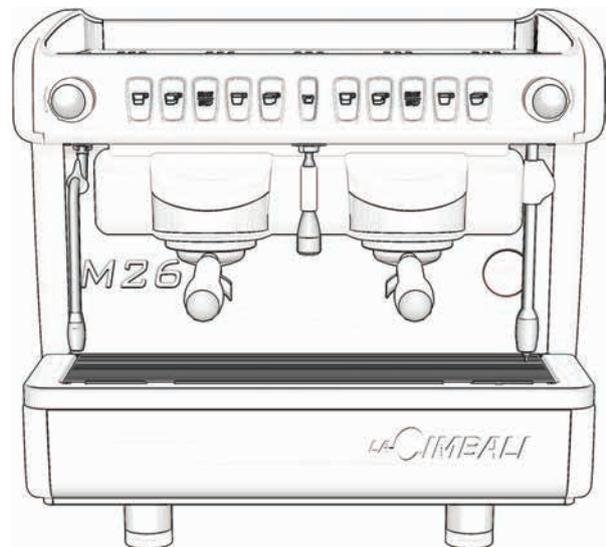
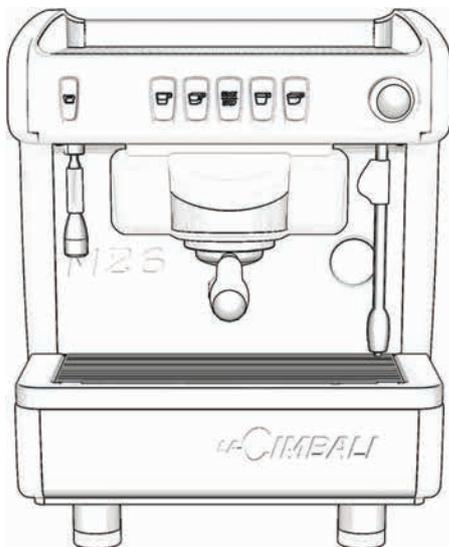
# LA CIMBALI

## M26 1/DT - Compact

### JA

使用と設置

取扱説明書原文の翻訳





本マニュアルの最新の電子版は、ページ下に記載されているリンク先に認証情報を使用してアクセスするとご覧いただけます。



<https://order.gruppocimbali.com/explorer/spareparts/page/login>

User ID: guest  
PW: Entr@nc3



Please sign in

guest

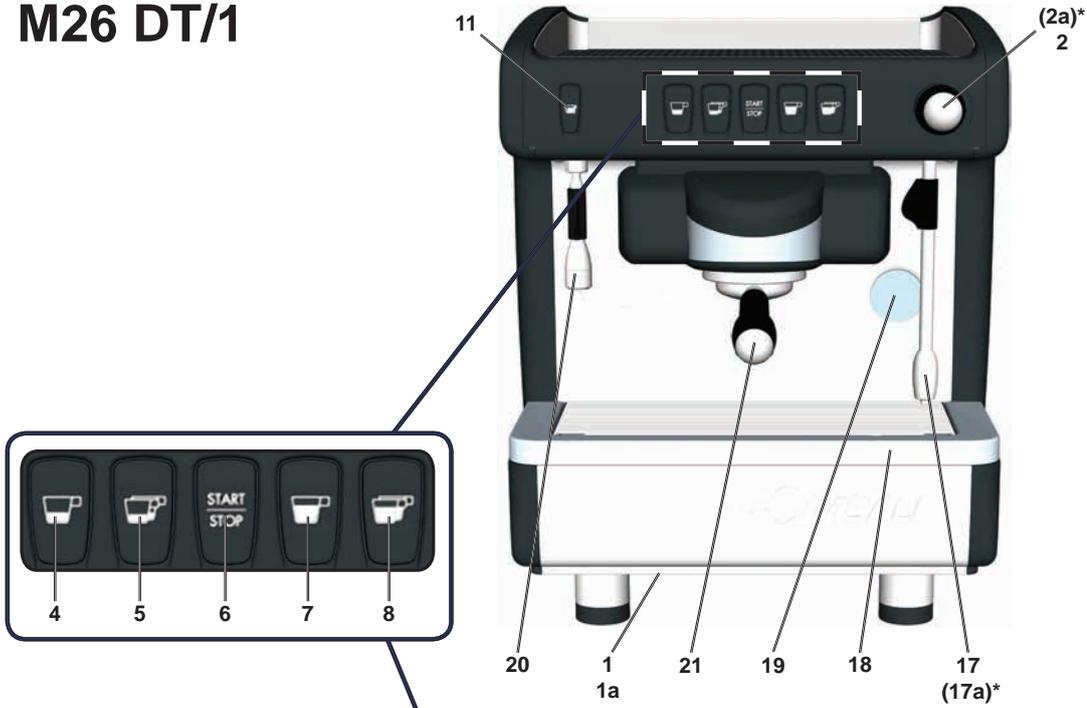
.....

Sign in

索引

	ページ		ページ
1. 総則	5	使用	
2.1 輸送および取り扱い	6	10. 日常作業	13
2.2 設置規則	7	11. 加熱が始まります	13
3. 電氣的設置規則	8	12. コーヒー分配	14
4. 水の設置規則	8	13. お湯の分配	14
5. 設置チェックアップ	9	14. スチーム分配	15
6. マシンを操作する作業者に関する規則	10	15. プログラミングモードへのアクセス方法	16
7. 注意	11	16. クリーニングとメンテナンス	17
8. メンテナンスと修理	11	17. 欠陥 - 不具合	19
9. マシンの分解	12		
		イラスト	20
		サービスライン	20

M26 DT/1



M26 Compact

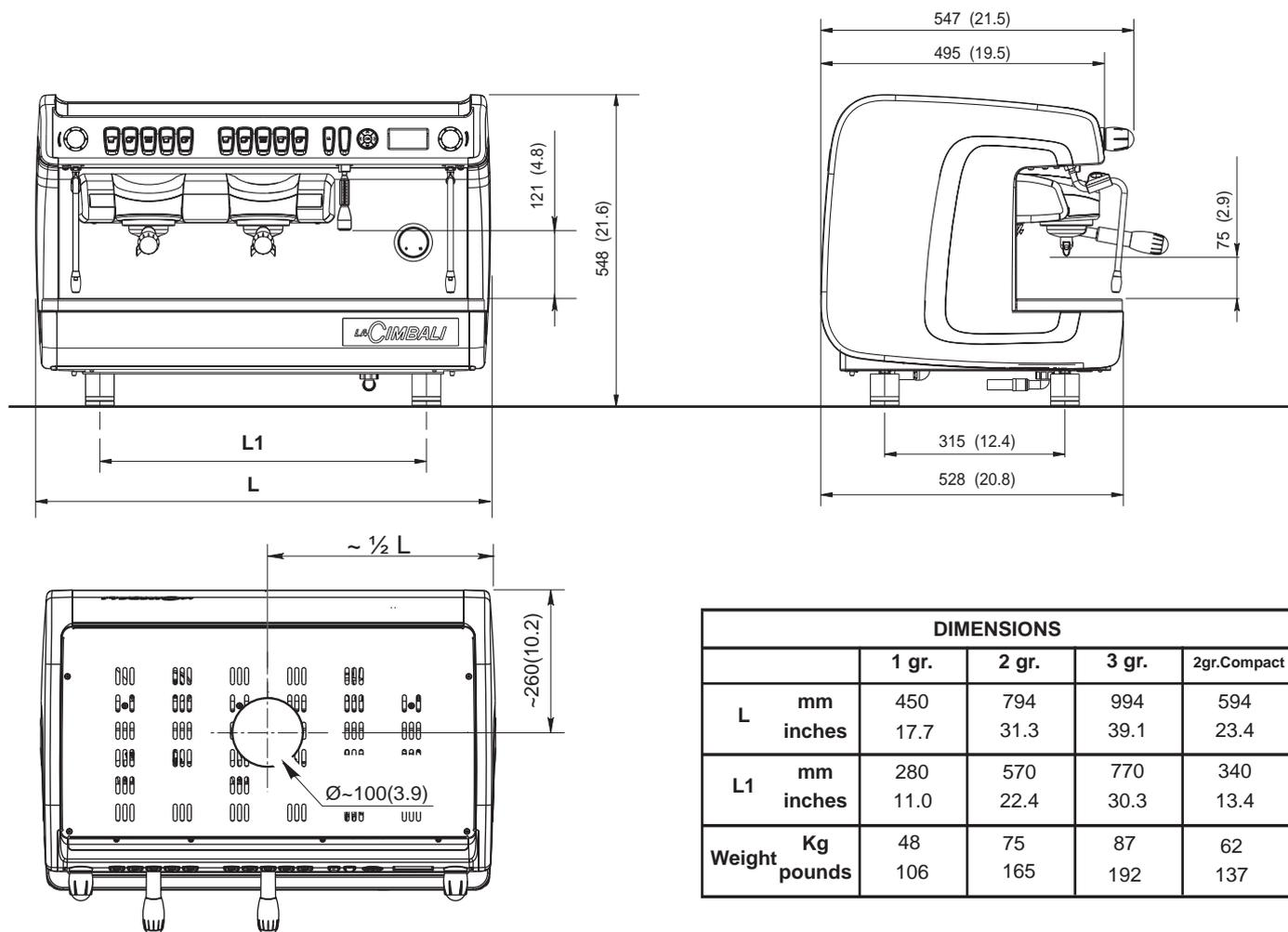


凡例

- |    |                               |    |  |     |                                       |
|----|-------------------------------|----|--|-----|---------------------------------------|
| 1  | メインオン/オフスイッチ                  | 8  | 分配用プッシュ ボタン -<br>2 ロング コーヒ                 | 15  | 「▼」キー (パラメーター/時計の修正に使用)               |
| 2  | スチーム調整ノブ                      | 9  | コーヒー分配スイッチ                                 | 16  | グラフィックディスプレイ (*)                      |
| 2a | ターボスチーム セレクター (*)             | 10 | 電気式カップウォーマー ボタン (*)                        | 17  | 回転式スチームジェットパイプ                        |
| 3  | カップウォーマー (*)                  | 11 | お湯ボタン                                      | 17a | ターボスチームパイプ (*)                        |
| 4  | 分配用プッシュ ボタン -<br>1 ショート コーヒー  | 12 | 「◀」キー (プログラミング モードを終了する/入力したデータをキャンセルするキー) | 18  | パン                                    |
| 5  | 分配用プッシュ ボタン -<br>2 ショート コーヒー  | 13 | 「▲」キー (パラメーター/時計の修正に使用)                    | 19  | ポンプ圧ゲージ/ボイラー圧力計 (*)                   |
| 6  | 停止-継続 / プログラミング -<br>プッシュ ボタン | 14 | 「▶」キー (プログラミングモード/メニューへアクセスするキー)           | 20  | お湯の分配パイプ                              |
| 7  | 分配用プッシュ ボタン<br>-1 ロング コーヒー    |    |  | 21  | フィルターホルダー                             |
|    |                               |    |  | OK  | ボイラー抵抗の On / Off スイッチ -<br>入力したデータを確認 |

コンポーネント - \* - は一部の製品の構成のみに適用されます

	$P_{max}$ [ bar ]	$T_{max}$ [ °C ]	マシンのタイプ	1グループ	2グループ
			液体	容量	
サービスボイラー	2	133	水/スチーム	5	10
熱交換器	12	133	水	0.18 x 1	0.18 x 2



DIMENSIONS					
		1 gr.	2 gr.	3 gr.	2gr.Compact
L	mm	450	794	994	594
	inches	17.7	31.3	39.1	23.4
L1	mm	280	570	770	340
	inches	11.0	22.4	30.3	13.4
Weight	Kg	48	75	87	62
	pounds	106	165	192	137

記号



一般的な警告



警告:電氣的な危険



警告:手を挟む危険があります



警告:高温の表面



環境保護



取扱説明書のこれらのページは、マシンを操作する人を対象にしたものです。



取扱説明書のこれらのページは、認可を受けた有資格技術担当者を対象にしたものです。



## 1. 総則



マシンを使用または取り扱う前に、このユーザーマニュアルの警告および規則を注意深くお読みください。これは、マシンを操作する時の安全と衛生に関する重要な情報を提供するものです。

簡単に参照できるように、この小冊子を手元に置いておいてください。

- マシンは、お湯またはスチームを使用して、エスプレッソコーヒーおよびホットドリンクを作ること、およびカップを暖めること専用で設計されています。その他の使用はすべて非正規な使用と見なされません。
- マシンは、その使用に伴う危険を理解しており、しっかりしたトレーニングを受けたスタッフのみが使用できる場所に設置しなければなりません。
- マシンはプロによる使用専用です。
- この機器の安全な使用に関する監督を受けるか、あるいはその指示を受けることができ、かつそれに伴う危険性を理解できる場合、8歳以上の子ども、ならびに身体的、知覚的、または精神的能力が低下している人、あるいは経験と知識が不足している人でもこの機器を使用できます。  
子どもはこの機器で遊んではいけません。  
監督なしで子どもがクリーニングおよびユーザーメンテナンスをしてはいけません。  
未成年者が使用する場合、成人の監督があるなしにかかわらず、地元の雇用法に違反してはいけません。
- マシンの使用中は必ずだれかがそこにいるようにしてください。
- 機器を戸外で使用してはいけません。
- 温度が氷点以下に下がる可能性のある室内で機器を保管する場合は、ボイラーおよび水回路チューブを空にしてください。
- 大気中の物質（雨、太陽、および寒さ）に機器をさらさないでください。
- 噴流で機器をクリーニングしないでください。
- 騒音:測定された音圧レベル 74 dB(A) (+/- 2.5dB)。
- 電源コードが破損した場合、認可された有資格技術者のみ交換することができます。
- マシンの使用が不適切である場合、あるいは上記以外の目的のために使用した場合、危険の原因になることがあります。メーカーは、機器の使用が不適切であるために引き起こされた損害に対して責任を負いません。



### 警告

設置、分解、および調整は、認可された有資格技術者が行わなければなりません。

このマニュアルの警告および規則は、マシンの安全な設置、使用およびメンテナンスに関する重要な情報を提供するものですので、注意深くお読みください。

簡単に参照できるように、この小冊子を手元に置いておいてください。

## 2.1 輸送および取り扱い

### 梱包

- マシンは適切な内部保護が付いた頑丈な段ボールのパッケージで配達されます。パッケージには、機器の取り扱いおよび保管時に従うべき規則を示す標準的な記号が使用されています。
- パッケージの指示に従って輸送する必要があります。また、細心の注意を払って取り扱い、いかなる種類の衝撃も避けなければなりません。
- 大気中の物質 (雨、太陽、および寒さ) に機器をさらさないでください。

### 受領時の確認

- 機器の受領時に、輸送書類がすべて正確であることを注意深くチェックしてください (パッケージのラベルと照らし合わせる)。
- オリジナルの梱包が破損していないことをチェックしてください。
- 梱包用材料から機器を取り出した後、機器とその安全装置が完全な状態であることを確かめてください。
- 梱包材料 (ビニール袋、ポリスチレン発泡体、ステープルなど) は潜在的な危険性があるので、子どもの手が届かないようにしておいてください。

### 梱包材料の廃棄に関するアドバイス



梱包材料はエコ対応でリサイクル可能です。環境保護のため梱包材料は単なるゴミとして捨ててはいけません。地元の規則に従い回収/廃棄物処理センターに持ち込んでください。



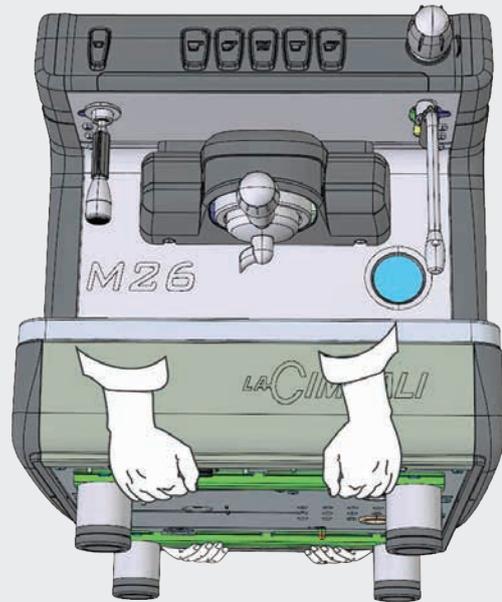
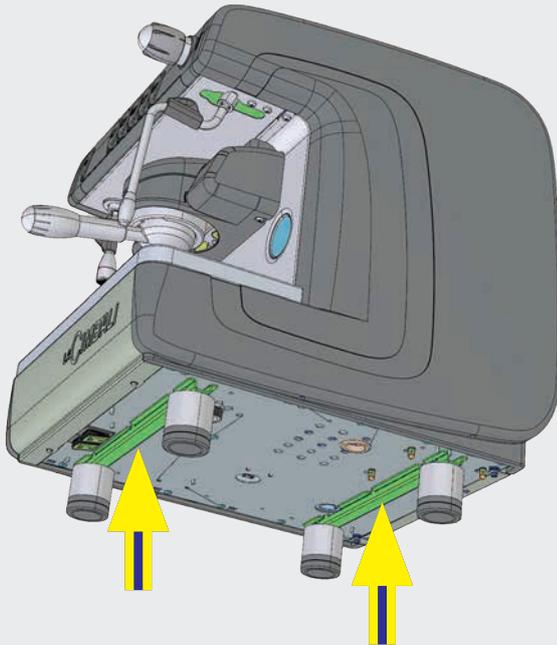
取り扱い



機器の移動責任者は、重量物を移動させことに伴う危険を熟知している必要があります。機器を注意深く移動させます。可能な場合は適切なりフティング機具を使用してください（フォークリフトなど）。

手で機器を移動させる場合は、以下を確認してください。

- 機器の重量、および取り扱いがどの程度困難かに応じて、この移動に十分な人数の人が作業できること。
- 必要な安全機具（靴/手袋）を常に使用すること。



## 2.2 設置規則

- 機器のプラグを入れる前に、銘板上の情報（電圧など）が電気システムおよび水道システムのそれと一致することを確認します。
- 電源コードの状態をチェックします。破損している場合、交換しなければなりません。
- 完全に、電源ケーブルを伸ばします。
- コーヒーマシンは、壁とカウンターから少なくとも20mm離れ、平らで安定した表面に配置する必要があります。マシンの最も高い表面（カップウォーマートレー）が少なくとも1.2メートルの高さに来るということを念頭においてください。付属品用の棚が近くにあることを確認します。
- 室温は10°C～32°C（50°F～90°F）の範囲でなければなりません。
- 電気コンセント、水道の接続部、およびサイフォンの排水管は、すぐ近くなければなりません。
- 噴流で清掃される部屋（台所）には、マシンを設置しないでください。
- 開口部、換気部、および排熱部を塞がないでください。
- 機器を戸外に設置しないでください。
- 爆発の危険性がある環境の中でマシンを設置したり使用したりしないでください。
- 可燃性の物質があるところにマシンを設置しないでください。



### 3. 電氣的設置規則

設置に先立ち、接触部の間に回路遮断器が設置されていることを確かめてください。これはカテゴリIIIの過負荷があった場合に完全に切断することができ、30mAの漏電から保護するものです。設置規則に従って電源に回路遮断器を設置する必要があります。

電源が適切に作動しない場合、機器は一時的な電圧降下を引き起こす場合があります。

施行されている電気の安全に関する法律に従って機能している接地システムに正確に接続されている場合にのみ、この機器の電氣的な安全が保証されます。この基本的な安全要件を確認しなければなりません。疑問がある場合は、有資格電気技術者にシステムの検査を依頼してください。メーカーは、電源の接地システムを使用しないことにより発生する損害に責任を負いません。

アダプター、複数のプラグ、延長コードを使用しないでください。

接続のタイプおよび電圧が銘板の情報に一致するかどうかチェックしてください。イラストの章の図1を参照してください。

### 4. 水の設置規則

#### 水の要件

コーヒーマシンで使用される水は、人の消費に適したものでなければなりません (施行されている法律と規則を参照)。

マシンの水取り入れ口をチェックし、pHと塩化物の値が現行法に準拠しているかどうか点検してください。

値が制限内にない場合、適切な水処理装置を挿入しなければなりません (地元の法律に準拠し、マシンと互換性があるものを使用)。

8°F (4.5 °D) を超える硬度の水を使用する場合、検出された硬度およびマシンの使用状況に応じて特定のメンテナンスプランを実行する必要があります。

#### 警告

設置には納入された部品のみを使用してください。他の部品が設置されている場合、その部品は新品でなければなりません (水道接続用の未使用のパイプおよびガスケット)。また、人が消費するのに適している水道との接続に許可されたものでなければなりません (現行の地域の規則に準拠していること)。

#### 水道との接続

機器を平面に置き、脚部を調節、固定し、安定させます。

設置国の衛生、水の安全性、および汚染防止の各法律に従い、イラストの章の図2で示されている通り水道接続部をつないでください。

備考: 水圧が6バール以上に上昇する場合は、減圧弁を2~3バールに設定して設置してください。イラストの章の図3を参照してください。

排水チューブ: 検査とクリーニング用のサイフォン付き排水チューブの端部を排水管に入れてください。

重要: 排水チューブの曲がり方がイラストの章の図4で示されているような曲がり方をしてはいけません。



## 5. 設置チェックアップ



警告:設置後、マシンが正常に動作していることを点検してください(「設置モジュール C」を参照)。

### 水道との接続

- 接続部またはチューブから漏れがない。

### 機能

- ボイラーと運転圧が正常である。
- 圧力計が適切に作動している。
- 自己平準化装置が適切に作動している。
- 膨脹弁が適切に作動している。



警告:マシンの設置が完了して使用の準備ができたなら、作業者がマシンの使用を開始する前に、下記の指示に従って内部のコンポーネントを洗浄してください。

### グループ

- グループ (コーヒー無し) にフィルターホルダーを取り付けます。
- 各グループに約1分間水を分配させます。

### お湯

- 少なくとも2.5リットルの水が使用されるまで、連続してお湯を (適切なボタンを押して) 分配します。  
ユーザーマニュアルの「お湯の分配」の章を参照してください。

### スチーム (ターボスチーム付きを含む)

- 適切なボタンを使用して、約1分間ノズルからスチームを分配します。



## 6. マシンを操作する作業者に関する規則

### 起動前



警告: マシンの操作を開始する前に、下記の指示に従って内部のコンポーネントを洗浄してください。

この手順は少なくとも1日1回、およびマシンを8時間以上操作していない場合に繰り返す必要があります。

### グループ

- グループ (コーヒー無し) にフィルターホルダーを取り付けます。
- 各グループに約1分間水を分配させます。

### お湯

- DT バージョン。「ボイラー中の水の交換」のセクションの記載に従い、水を交換します。
- C バージョン。1グループのマシンでは少なくとも3リットルの水が使用されるまで、2グループのマシンでは5リットルの水が使用されるまで、3グループのマシンでは8リットルの水が使用されるまで、連続してお湯を (適切なボタンを押して) 分配します。  
ユーザーマニュアルの「お湯の分配」の章を参照してください。

### スチーム (ターボスチーム付きを含む)

- 適切なボタンを使用して、約1分間ノズルからスチームを分配します。

### 操作中

#### スチーム分配 (ターボスチーム付きを含む)

- ドリンク (水、ミルクなど) を熱する前に、少なくとも3秒間スチームノズルを開き、水滴が除去されるようスチームを逃します。

#### コーヒー分配

- マシンを1時間以上使用していない場合、お湯を使用する前に液体を約100cc分配し、廃棄します。

#### お湯の分配

- マシンを1時間以上使用していない場合、お湯を使用する前に液体を約200cc分配し、廃棄します。

#### コーヒーのクリーニング

- これらの回路のクリーニング方法は、ユーザーマニュアルの該当のセクションをお読みください。



## 7. 注意



### やけどの危険

この記号でマークされたエリアは高温になります。これらのエリアの近くでは、細心の注意を払う必要があります。



WARNING: Hot surface  
 ACHTUNG: Heisse Oberfläche  
 ATTENTION: Surface chaude  
 ATTENZIONE: Superficie calda

### 全般

メーカーは、コーヒーマシンの不適切な使用、または意図された目的以外の使用により物品または人へ損害が生じた場合は、その責任からすべて免責されるものとします。

濡れた手や裸足の状態でコーヒーマシンを操作しないでください。

子ども、あるいは正しい使用法について指示を受けていない人が機器を使用することがないようにしてください。

### やけどの危険

手やその他の身体の部位がコーヒーを分配するグループに近づいたり、あるいはスチームおよびお湯のノズルの近くに来ることがないようにしてください。



### マシンの片付け

マシンが長時間 (例えば何時間も) 放置されていた場合、

以下の手順を実行してください。

- 関連の章に指示されている通りにクリーニングを行ってください。
- プラグを外すか、あるいはメインスイッチをオフにします。
- 給水栓を閉じます。

これらの安全対策が遵守されない場合、不具合、器物の破損、および/もしくは身体の負傷に対するすべての責任からメーカーは免責されるものとします。

## 8. メンテナンスと修理

マシンが適切に作動しない場合は、マシンを止め、メインスイッチをオフにし、サービスセンターに電話をしてください。

電源コードが破損している場合は、マシンのスイッチを切り、サービスセンターに交換を依頼してください。



操作中の安全を確保するためには、必ず以下の作業をおこなう必要があります。

- メーカーのすべての指示に従う。
- 認可を受けた有資格技術者に、定期的に安全装置がすべて完全に適切に機能していることをチェックしてもらおう (購入から3年以内に最初の検査を行い、その後は毎年行う)。



### 警告

無資格の人によるメンテナンスは、マシンの安全性および適格性を危険にさらすことがあります。

修理は、有資格の認可された技術者だけが行うようにしてください。

### 警告

メーカーが保証した純正スペアパーツのみを使用してください。

純正スペアパーツを使用しない場合、メーカーの保証が失効します。

### 警告

メンテナンス後、ユーザーマニュアルの関連のセクションで示されている通りに設置のチェックアップを行なってください。



## 9. マシンの分解

電気機器は通常の一般廃棄物として処分することができません。



適切に分別して廃棄物を処理してください。これにより、マシンを環境に優しい方法でリサイクル、処理、処分することができます。

これにより、環境と健康に対する悪影響を回避し、マシンの製造用素材の再利用やリサイクルを促進します。

現行法に準拠せず、不適切な方法で電気機器を処分すると、行政上の罰金および刑事上の制裁を受けることになります。

環境を保護するため、地域の現行法に従って解体してください。



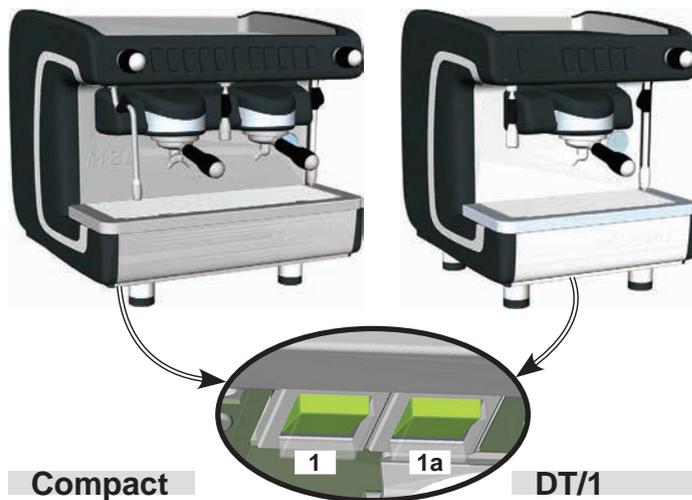
# 使用

## 10. 日常作業

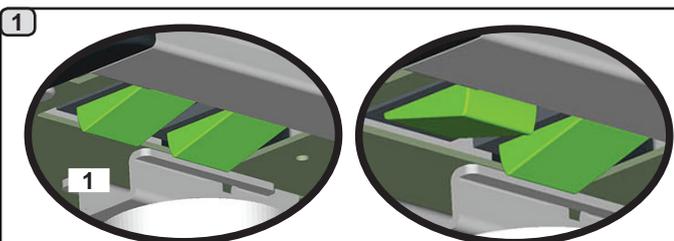
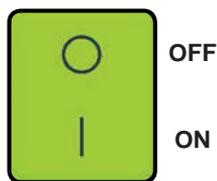


「マシンを動かす前に以下について確認してください。」

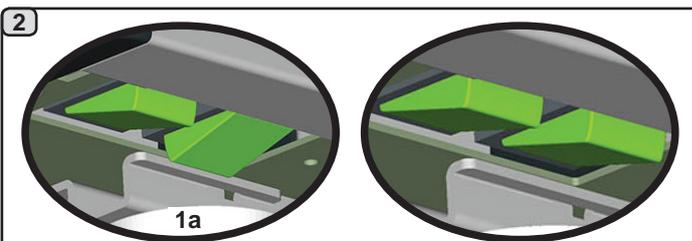
- 主電源スイッチがオンになっている。
- 主給水栓がオンになっている。」



順序に注意してスイッチ (1) と (1A) を起動します。



点灯しているメインスイッチ (1) をポジション  まで押しすと、関連のインジケータライトのスイッチがオンになりキーも点灯します。  
 ボイラー中の水位が最小限度より低くなると、ボイラーには正しいレベルまで水が満たされます。これは、マノメーターポンプの圧力が回復されたことによって示されます。



抵抗器 (1A) をポジション  で起動するライトのスイッチを押すのは、ボイラーへの充電プロセスが完了してからのみにしてください。関連のインジケータライトのスイッチがオンになり、加熱段階が始まります。  
 動作圧力 (約1.2 bar) がマノメーターに表示されるまで待ってください。  
 この時点でマシンは使用準備ができています。

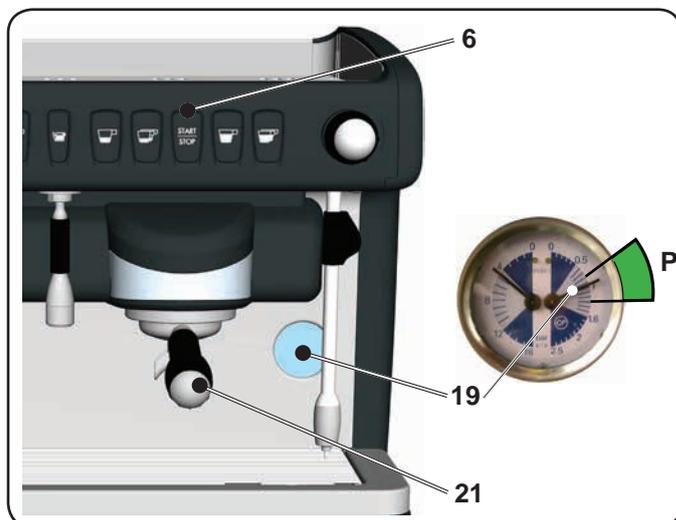
## 11. 加熱が始まります

加熱中にコーヒー分配のプッシュボタンのうちの1つを押すと、その時点で達していた温度でマシンがコーヒーを分配します。

加熱は、ボイラーゲージインジケーター (19) がPの緑の領域に安定したままになると完了です。

これで、マシンはコーヒー、スチーム、およびお湯を分配する準備ができています。

ディスペンサーユニットとフィルターホルダー (21) が同様の温度にあることを確認し、コーヒー分配用のプッシュボタン (9) を押します。そして、マシンに数秒間コーヒーを分配させます。その後、プッシュボタン (9) を押して分配を停止します。





## 12. コーヒー分配

フィルターホルダーを外し、先に使用したコーヒーの粉を出しながら入れの中に捨てます。

円錐形のフィルター付きの1カップ用フィルターホルダーの場合は1回分の挽いたコーヒーでフィルターを満たすか、円筒形のフィルター付きの2カップ用フィルターホルダーの場合は2回分の挽いたコーヒーでフィルターを満たします。

グラインダーの加圧ディスクでフィルターホルダーの挽いたコーヒーを均等に押しします。

残りの挽いたコーヒーを除去するため、フィルターの縁部をクリーニングします。

グループにフィルターホルダーを取り付け、1個か2個のカップをフィルターホルダーのデリバリースパウトの真下に置きます。

バージョン。好みの分量に対応するコーヒー分配キーを押します。選択したキーに対応する LED は点灯したままになり、コーヒーが分配されます。分配は自動的に止まります。

連続分配を行うには、プッシュボタン **START/STOP (6)**  を押しします。

分配は、一定量の分配か連続分配かに関わらず、いつでも **START/STOP (6)**  ボタンを押して中断することができます。



コーヒーの分配が完了するまで、コーヒーフィルターを取り外さないでください。

## 13. お湯の分配



熱湯によるやけどの危険!ウォーターノズルとスチームノズルを移動させるには、適切な絶縁装置(A)を使用してください。

お湯の分配はエコマイザーによってコントロールされます。これによりボイラーからのお湯がメインパイプからの新鮮な冷水と混合されて温度がコントロールされます。

このシステムにより水質が改善され、オペレーターが最良の結果を出すことが保証されます。

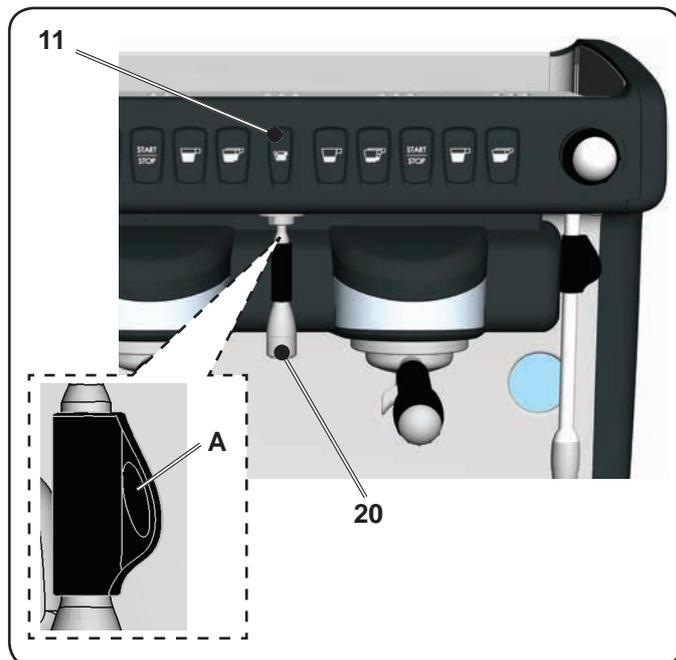
適切な容器をお湯のディスペンサー (20) の下に置きます。

お湯の分配キー (11) を押しします。

お湯のプログラム済みの分量はディスペンサー (20) から注がれ、自動的に停止します。

注:

- 分配はキー (11) を押すことによりいつでも中断できます。
- 送水される水の温度を調整するエコマイザーの調整は設置担当のサービス技術者によって行われます。





14. スチーム分配



熱湯によるやけどの危険!ウォーターノズルとスチームノズルを移動させるには、適切な絶縁装置(A)を使用してください。



スチーム分配パイプのクリーニング  
各スチーム分配の段階の終了時:

- 清潔なスポンジを使用してお湯で洗い、有機残留物を除去します。丁寧にすすぎます。
- スチームノズルの内部を以下のようにして洗浄します。  
カップトreyに向けてノズルを回し、少なくとも1回注意深くスチームの分配を行います。

カプチーノ用ミルクの加熱

一般事項

ミルクはデリケートな生物学的製品で、悪くなりやすいものです。熱により構造が変化します。ミルクは、容器を開けた時点から使用中は常に5°C (41°F) 以下の保存温度で保存する必要があります。当社の保存装置はこの目的に適しています。

備考:営業日の終わりに (または容器を開けてから24時間以下) 残りの全てのミルクを廃棄する必要があります。

ターボスチームセレクトター (2a) による分配

(適用可能な場合)

ターボスチーム (ストップ スチーム) 分配システムを装備したマシンは「設定温度に達すると、スチームの分配を停止する」機能を持っていて、素早くミルクを加熱して泡立てることができます。

適切な容器にスチームノズル (17a) を挿入します。バルブがミルクに完全に浸されていることを確かめます。

希望のミルクのタイプを選択します:

- ノブ (2a) を使用し、時計回り (泡立て) または反時計回り (ホット、泡立てなし) に回します。

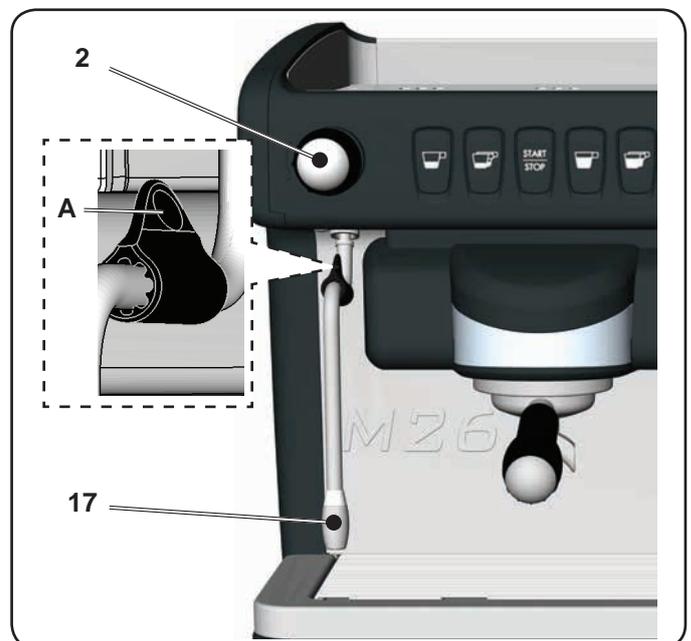
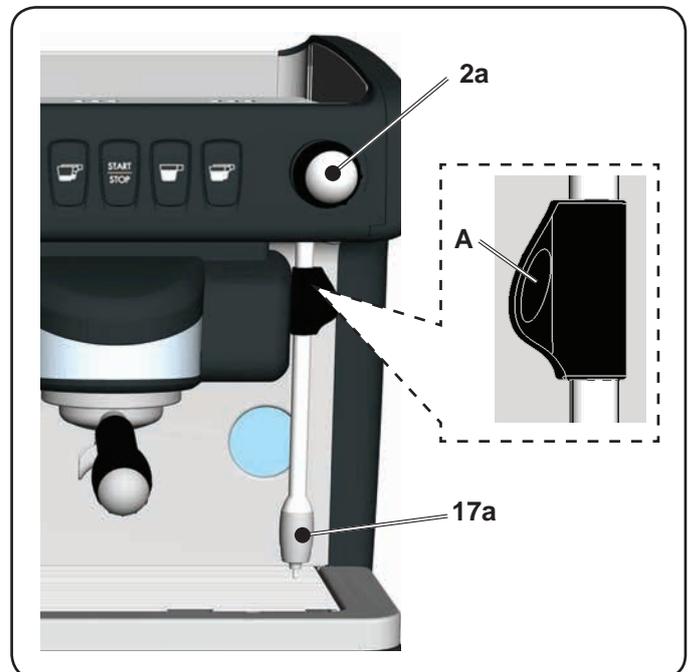
設定温度に達したら、スチームの分配を停止できます。

- 自動、
- 手動、ノブ (2a) を任意の方向に回します。

ノブコントロールによるスチーム分配

スチーム泡立てシステム (2) は、徐々にスチーム フローを開くことができるので、混合される必要のあるドリンクに適しています。

スチーム分配ワンド (17) を適切な容器に挿入します。スチームを開きますが、飲み物が加熱される場合は閉じてください。





## 15. プログラミングモードへのアクセス方法

プログラミングモードに入るには、プッシュボタンSTART/STOP (開始/停止) (6)  を押し、約8秒間押し続けます。キー上の点滅するLEDライトのシーケンスおよび断続的なブザーはマシンがプログラミング段階に入ったことを示しています。様々なドリンクのプログラミング後にプログラミングモードを終了するには、再度START/STOP (6)  ボタンを押します。

### コーヒー分量のプログラミング

「コーヒー分配プッシュボタンのプログラミングを行う前に、フィルターホルダーに正しい量のコーヒー粉を入れてください。  
 コーヒー抽出かすを分量のプログラミングに使用しないでください。」

フィルターホルダー (21) を取り付け、コーヒーディスペンサーユニットに固定し、カップをフィルターホルダー (21) のノズルの下に置きます。

プログラムする分量に該当するコーヒー分配プッシュボタン (4, 5, 7 または 8) を押します (少しの間押しただままにする)。プログラムされるキーのLEDが点灯したままになり点滅しません。カップ内のコーヒーの量が要求されるレベルに達したら、コーヒー分配プッシュボタンから指を離します。

他のコーヒーボタンでも上記の操作を繰り返します。

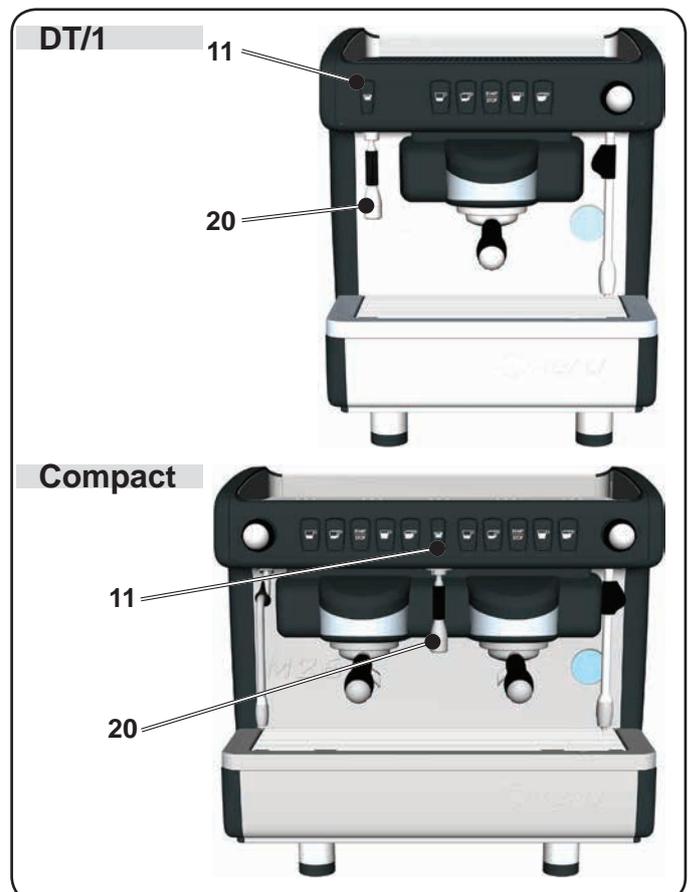
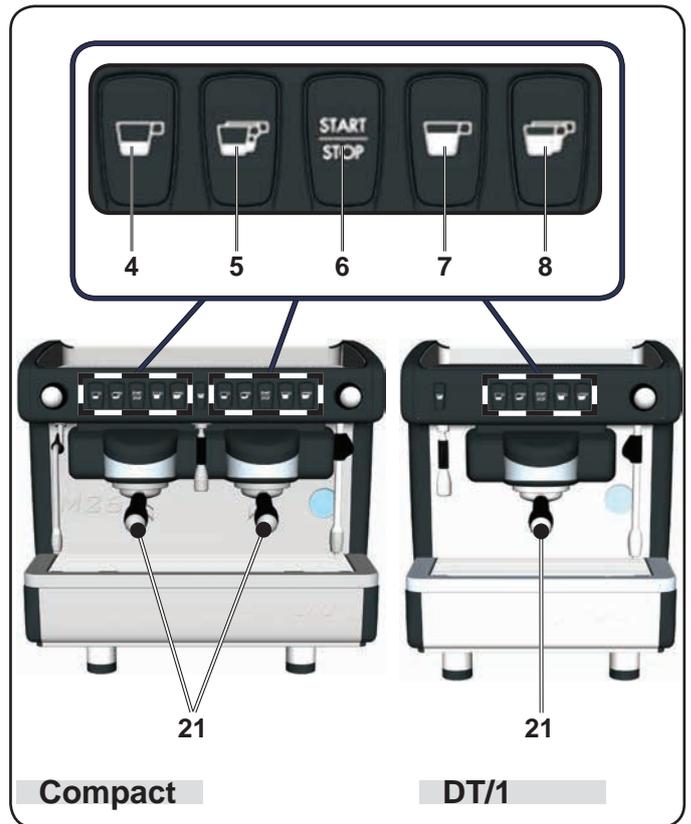
備考: プログラミングを間違えた場合、一回分の新しい粉コーヒーを使用して操作を繰り返してください。

### お湯の計量のプログラミング

プログラムされる量に対して適切な容器をお湯のパイプ (20) の下に配置します。

お湯の分配プッシュボタン (11) を押します (少しの間押しただままにする)。

容器内の水の量が要求されるレベルに達したら、プッシュボタン (11) から指を離します。





16. クリーニングとメンテナンス

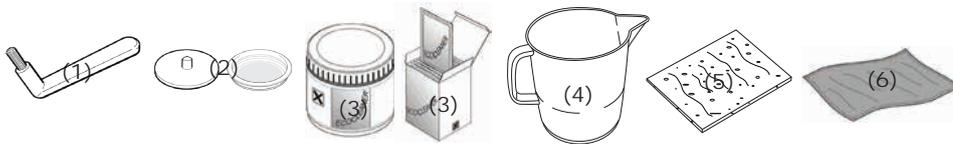


食品安全性システム (HACCP)の正しい適用については、このパラグラフの指示に従ってください。

洗浄は、オリジナルの「サービスライン」製品を使用して実行しなければなりません (詳細は最終ページを参照)。その他の製品の場合、食品と接触する資材の適性を損なう可能性があります。

クリーニング間隔の全般的概要

	1回の使用ごとに	毎日	毎週	使用するツール
コーヒー回路		√		• ブラシ (1) - ラバーディスク (2) - 洗剤パウダー (3)
コーヒーグループ		√		• ブラシ (1)
ボイラー水の交換		√		
フィルタホルダー		√		• 容器 (4) - 洗剤パウダー (3) - スポンジ (5)
スチームパイプ	√	√		• スポンジ (5)
自動スチームパイプ	√	√		• スポンジ (5)
水パイプ		√		• スポンジ (5)
グリルとトレイ		√		• スポンジ (5)
排水トレイ			√	• 容器 (4) • スポンジ (5)
本体構造		√		• 柔らかい布 (6)



クリーニング作業の詳細は、以下のページの専用セクションを参照してください。

営業終了時にすべてのグループで実行する手順。

備考: マシンがオンであり、圧力がかかっている時は、以下の操作を実行しなければなりません。

1

コーヒーグループからフィルターホルダーを取り外します。

2

ブラシを使用して、カバーガスを清掃します。

3

フィルターが付いたフィルターホルダーにゴムディスクを挿入します。

4

洗剤粉の小包あるいは所定の分量が入ったカップを注ぎ入れます。

5

ディスペンサーユニットにフィルターホルダーを取り付けてください。  

 コーヒー分配の間はフィルターホルダーを取り外さないでください。

6

停止ボタンを押し、10秒後に再度押してください。このステップを10回繰り返してください。

7

フィルターホルダーを取り外してください。停止ボタンを押して、約30秒間水ですすぎサイクルを実行してください。



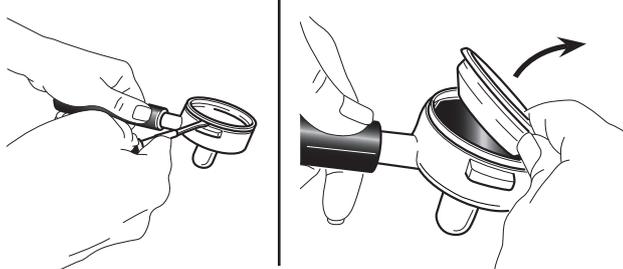
フィルターホルダー - この操作は各営業日の終わりごとにすべてのフィルターホルダーで実行しなければなりません

1



アルミニウムまたは鉄製の適した容器に 1 リットルのお湯 (50 ~ 80°C)、および製品説明に記載された量の洗剤を入れます。

2



フィルターホルダーからフィルターを取り外します。

3



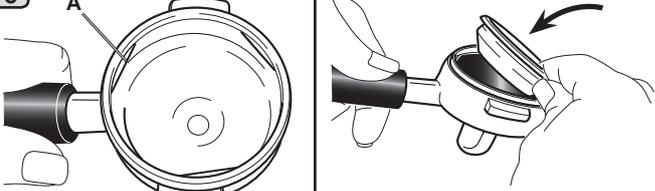
約15分間、この溶液にフィルターとフィルターホルダーを浸します。  
備考! 金属製部品のみ浸してください。

4



スポンジで残留物を取り除き、冷たい流水でよくすすぎます。

5



フィルターホルダーにフィルターを戻します。フィルターのアンカースプリング (A) がスロットにはまっていることを確認してください。

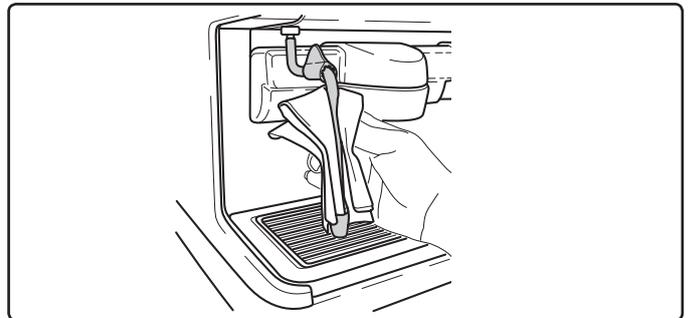
スチームおよびお湯の分配パイプ - この操作は各営業日の終わりごとに実行しなければなりません。

清潔なスポンジを使用してお湯で洗い、有機残留物を除去します。丁寧にすすぎます。



研磨材を使用しないでください。

スチームノズルの内部をクリーニングするには、以下の手順に従ってください。  
カップトレイに向けてノズルを回し、少なくとも1回注意深くスチームの分配を行います。



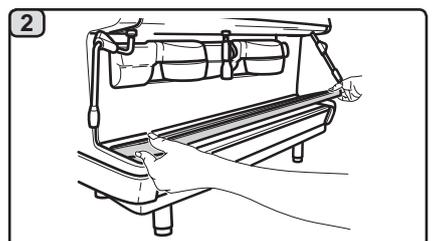
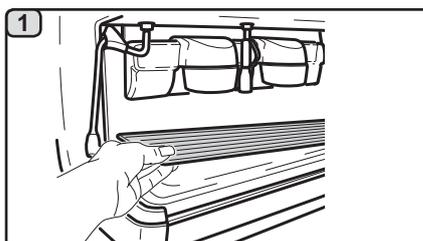
備考: マシンのスイッチがオフの場合、下記の手順も実行できます。

グリルとドリフトレー - この操作は各営業日の終わりごとに実行されなければなりません。

1. グリルをドリフトレーから取り外します。
2. ドリフトレーを抜き取ります。
3. 流水の下でグリルとドリフトレーをすすぎます。



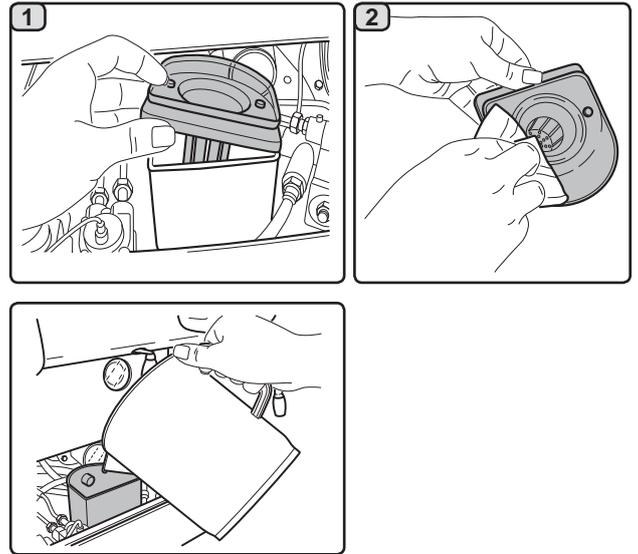
やけどの危険  
フロントパネルの下に手を入れないでください。





排水トレイ

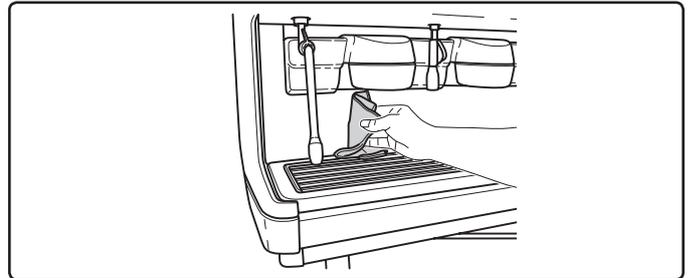
- この操作は、7日ごとにおこなう必要があります
- 1. トレーを取り外したら、排水トレイのふたを取り外します。
- 2. スポンジで残留物を取り除き、冷水でよくすすぎます。



- この操作は各営業日の終わりごとに実行しなければなりません。  
約1リットルのお湯を排水トレイに流し込み、残留物を取り除きます。

本体構造 - この操作は各営業日の終わりごとに実行されなければなりません。

柔らかい布とアンモニアや研磨材無しのクリーニング用品で、作業領域にある有機残留物を取り除きます。  
備考: パネルスロットへ液体をスプレーしないでください。



17. 欠陥 - 不具合

顧客による直接行動

サービス担当者に連絡する前に、不必要な出費を防止するため、マシンの問題が下に記載された事例のいずれかに当てはまるかどうかをチェックします。

問題	原因	解決策
コーヒーマシンが動作せず。	電気が供給されていない。	電気供給を確認してください。 メインスイッチ (1) の位置を確認してください。
コーヒーマシンが加熱していません。	スイッチ (1a) の位置が間違っている。	スイッチ (1a) を押します。
フィルターホルダー (21) からの漏れ	アンダーパンガスケットがコーヒーで汚れている。	同梱の専用ブラシを使用して清掃してください。
コーヒーマシンの分配時間が短すぎる。	コーヒーマシンがあまりに粗く挽かれている。 コーヒーマシンが古すぎる。	より細かいグラインダーを使用してください。 新しいコーヒーマシンを使用してください。
コーヒーマシンから滴る。	フィルターの穴が塞がれている。 あるいは、フィルターホルダー (21) の出口の穴が汚れている。 コーヒーマシンがあまりに細かく挽かれている。	クリーニングしてください。 より粗いグラインダーを使用してください。
マシンの底部で水が漏れている。	排水口が詰まっている。 排水トレイの穴が塞がれている。	クリーニングしてください。 クリーニングしてください。
マシンは加熱されたが、コーヒーマシンが分配されない。	水の供給または硬水軟化剤の栓が閉じている。 システムに水がない。	栓を開けます 水が利用可能になるまで待つか、配管技術者に連絡してください。
自動レベルコントロール装置が動作しなくなっている。	上記と同じ原因です。	上記と同じ解決策です。

イラスト

- 設置規則の各章を参照



「1

水供給タップの設置

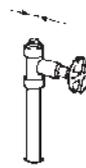
Ø 3/8 ガス

「3

水道本管最大圧力

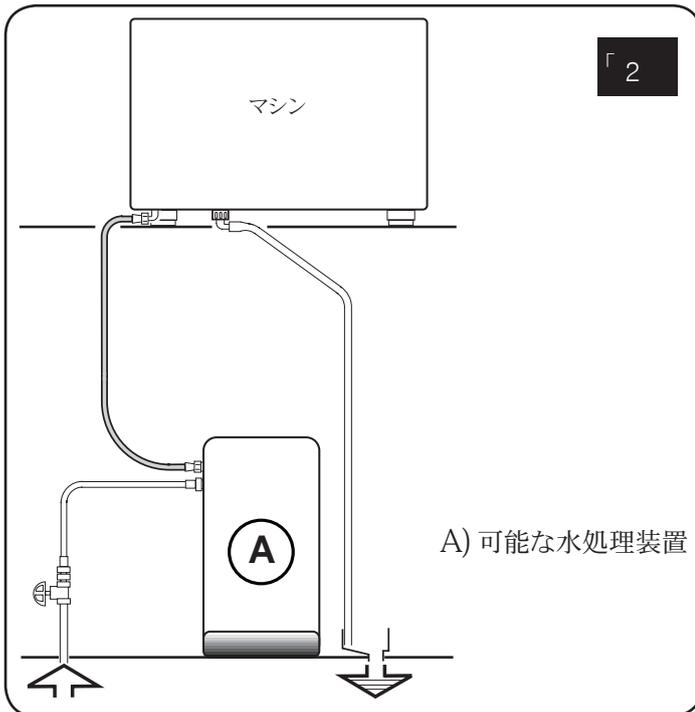
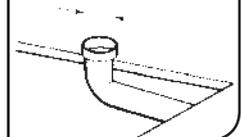
6 bar - 0.6 MPa

(この値より大きい圧力の場合、減圧弁を設置)



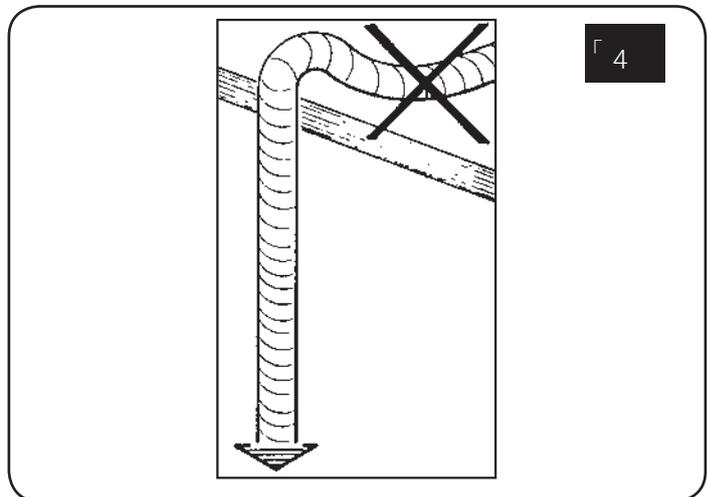
排水管

最小  
Ø 50 mm.



「2

A) 可能な水処理装置



「4

GRUPPO CIBALI S.p.A.  
Via A. Manzoni, 17  
20082 Binasco  
(MI) Italy

GRUPPO CIBALIは、個々の国のニーズに応じて、およびテクノロジー上の進捗状況に基づいてマシンに変更を加える権利を有するものとします。

この出版物はGRUPPO CIBALI S.p.Aの書面による事前の承諾がない限り、全部、一部に関わらず、使用、コピー、または出版してはいけません。

© Copyright by GRUPPO CIBALI S.p.A., Milan, Italy  
不許複製

サービスライン

GRUPPO CIBALIおよび「サービスライン」

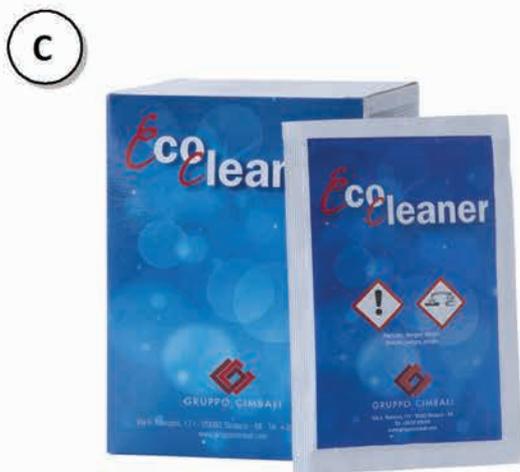
GRUPPO CIBALI社のクライアントサービスの目的は、弊社のクライアントに最高のコーヒーマシンのパフォーマンスを常に保証し、この目的のために特別に開発された一連の特殊なクリーニング用製品である弊社のECO LINEを提供することにあります。

ECO LINE - クリーニング用製品

A) カプチーノメーカー用	液体	610-004-159.
B) ディスペンサー、フィルターホルダー、コーヒーカップ用	粉末	610-004-270.
B) ディスペンサー、フィルターホルダー、コーヒーカップ用	小包	610-004-244.
D) スーパー自動マシンディスペンサー用	タブレット	610-004-217.

地域の販売代理店に直接注文してください。ご希望のアイテムについて上記の番号を指定してください。

# LI SERVICE LINE



メーカーは、この資料で示された器具を通知なく修正する権利を  
有するものとします

GRUPPO CIMBALI SpA - 20082 BINASCO (MILANO) ITALY



CERT. NR. 50 100 3685 / 10877 / 11721